

## 8. ボディチェック

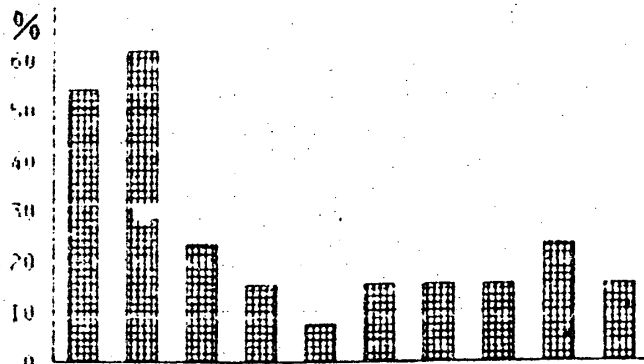
小学部13名の児童の身体を抽出養護・訓練の運動機能の田尻先生にチェックしてもらい、個々の子どもたちの問題点を知り、指導の手掛かりとする目的で行った。

(分かったこと)

個別の問題点がわかった。現在は問題がなくても将来問題が起こるケースもあり個別の配慮や家庭との連携を考えていかなければならない。全体で見ると、

右図のようになり、足の指の使い方・土踏まずの形成・筋力の強化の問題は小学部全体の課題ととらえて考えていかなければならない。

項目別にみた問題点



足 筋 経 皮 太 バ 前 関 呼 過  
 の 験 膚 り ラ 傾 節 吸 緊  
 裏 力 不 刺 過 ソ 姿 固 張  
 足 激 ぎ ス 勢 い

## 9. 各種実態調査からの考察

小学部では子供達のからだに関わる実態調査として、遠城寺式乳幼児発達検査、からだの輪郭表など6つの調査方法で実態調査をし、それぞれの調査内容で小学部の児童のからだに関わる特徴が表れているが、これの実態調査を通して見られる総合的な児童の実態として①3才前後の発達段階にある②学校においても家庭においても、十分な運動量で活動することが少ない③未経験の動きや運動が少なくない④足の指、背筋等に問題がある児童が少なくない等があげられる。

そこで発達上経験しておかなければならない動きを生活の中に積極的に取り入れ、先に述べたような問題点を改善していくことにした。具体的には、リズム・サーキット、合同体育、合同音楽、遊び、生活単元学習の5つの指導場面を組み立て指導してきた。その具体的な取り組みについては次ページから述べてみたい。